

## 母親の育児不安の構造に関する研究

### ～母親の地域社会に対する関心度と育児態度～

研究第7部 高橋種昭  
研究第9部 中 一郎

#### I 研究目的

現代社会は、疎外、孤立、無関心といった言葉で特徴づけられている。たしかに、隣り近所と殆ど付き合いをもたない人が少なくない。アパートの一室で病死した人の遺体が何日も発覚されずにいた、という様な事も時々報道される。しかし他方では、近所付き合いを積極的にしたり、町内会やサークル活動などを熱心に行っている人々も多勢いる。この様な程度の差はあるにしても、人間が社会の一員として生きていく為には他人との関係を強いられる。時には他人との交渉が煩わしいこともあるだろうし、また、救いになることもあるであろう。殊に母親にとって地域社会に対する関心は重大な問題と考

えられる。例えば子どもに関したものを考えても、幼稚園、保育園、学校、病院、遊び場、遊び仲間、公害などどれ一つとっても地域社会と切り離すことのできないものばかりである。

本研究は、母親達が地域社会に対してどのような感じを抱いているか、近所付き合いをどの程度しているか、サークル活動への参加度などを調査し、地域社会に対する関心度は何によって決まるかを探る。また、その関心度と育児態度との関連を明らかにするとともに、現代の母親達が持つ子どもに対する悩みや心配はどのようなものかも同時に把握するつもりである。

#### II 研究方法

質問紙を作製するに当って、母親と保育者との両サイドから育児に対する不安因及び地域社会に対する関心度についての意見を聴取した。それらの意見を考慮して、〔質問紙〕を作製した。(末尾の別表参照)

この質問紙を、東京、静岡、岩手の三都県の幼稚園と保育園を通じて母親に配布し、1,409人から回答を得た。

調査の協力を得た園は次の通りである。

東京……ルンビニ幼稚園、つくし幼稚園  
聖アンセルモ幼稚園、友愛園  
静岡……アソカ幼稚園、花園保育園  
岩手……大谷幼稚園、宮野目保育園  
花巻保育園、わかたけ保育園

#### III 結 果

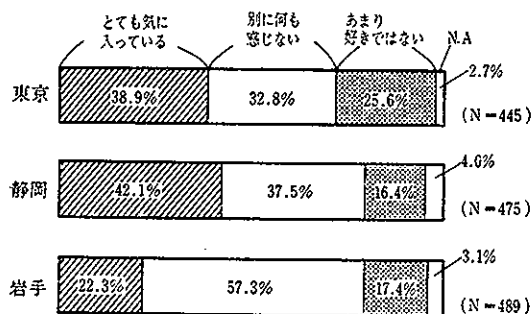
##### 1) 母親の地域に対する態度

第1図は母親が自分の住んでいる地域をどう思っているかを示したものである。東京、静岡の母親達のおよそ5人のうち2人は自分の町(村)に好意を抱いていることが分る。岩手の場合別に何も感じないと答えているものが半数以上を占め、好意をもってみているものは5人に1人の割合しかいない。また、あまり好きではないと

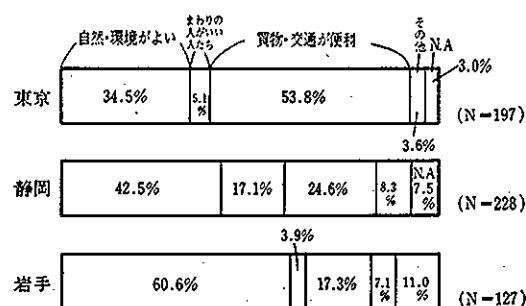
いう非好意的な感じで受け止めているものは東京が一番多く、およそ4人のうち1人の割合を占め、静岡、岩手では5人に1人弱の割合になっている。

次に好悪の理由をみると第2図、第3図の様になる。第2図から、住んでいる所を気に入っている理由として、都会にいくに従い買物や交通の便利がよいからと答えているものが多く、田舎になるに従い、自然や環境に

第1図 今住んでいる町(村)をどう思いますか

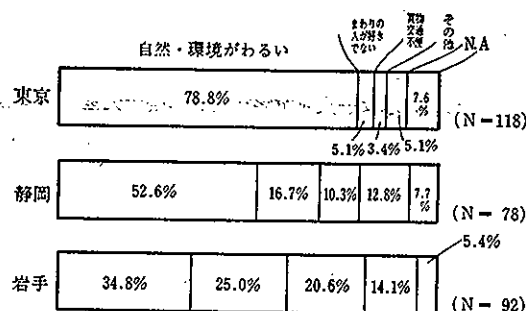


第2図 自分の町(村)を気に入っている理由



注) Nは複数を選択しているものがあるので延数でとった

第3図 自分の町(村)をあまり好きでない理由



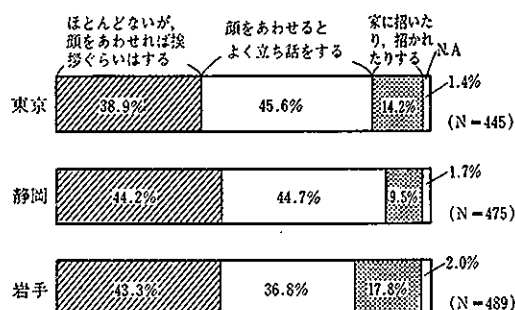
注) Nは複数を選択しているものがあるので延数でとった

恵まれているからと答えているものが増えてきている。周囲の人々がいいから町(村)も好きだと答えているものが、静岡で17.1%もあり、東京や岩手に比べて、人と人との繋りを重くみている点が注目される。この傾向は住んでいる所があまり好きではない理由(第3図)でも現われており、田舎にいくほど人との付き合いを重視する傾向がある。

2) 母親の近所付き合い

第4図は母親がどの程度の近所は付き合いをしているかを示したものであるが、これを見るとどの地域でも約40%近くのは顔をあわせたら挨拶する程度の付き合い

第4図 近所の人たちとの付き合いはどんなですか

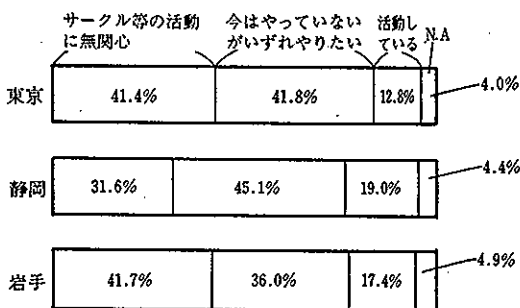


いをし、残りの半数の人々は立ち話をしたり家に往ききしていることが分る。殆ど付き合いがないと答えたものは、東京1.1%、静岡1.2%、岩手1.8%と全体からみると僅かな数にすぎなかった。逆に、家に招いたり招かれたりするほどの付き合いをしているのは岩手が一番多く、東京、静岡の順になっており、地域による近所付き合いの違いはみられなかった。

3) 母親のサークル等の活動の有無

第5図をみると東京と岩手では40%強の母親達はサークルやクラブ活動に無関心な態度を示しており、静岡では無関心派は若干少なくなっている。現在、実際に活動しているか、いずれ何かをやりたいと思っている母親達が過半数に達し、2人に1人はサークル等の活動に積極的な態度を示している。

第5図 サークル等にはいつていますか

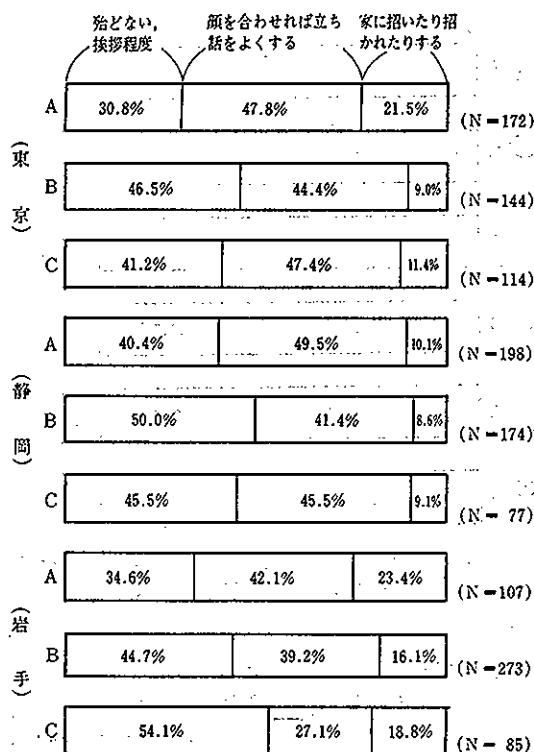


4) 地域に対する好悪と近所付き合い

第6図は自分の町に好悪を抱いている母親達の近所付き合いを示したものである。無効回答のものは除いたためNは第4図と異なってくる。

図を見て分る様に、東京、静岡、岩手の各地域とも、今住んでいる町(村)が気に入っていると答えたグループは付き合いがほとんどないか或は顔を合わせれば挨拶程度するといった表面的な近所付き合いをすることが他のグループよりも少なくなっている。換言すれば、自分の町(村)を気に入っている母親は近所付き合いも積極的にしていると解釈できる。これはつまり、地域に対す

第6図 近所付き合いの程度



注) Aは今住んでいる町(村)をとても気に入っていると答えたグループ  
 Bは今住んでいる町(村)に別に何も感じないと答えたグループ  
 Cは今住んでいる町(村)をあまり好きでないと答えたグループ

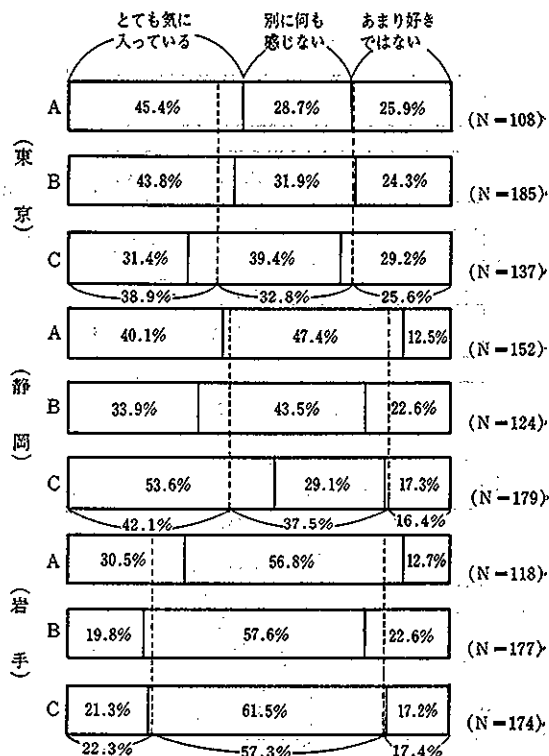
る好悪は環境とか交通の便といった要因と同時に人間関係という要因によっても左右されることを意味しているといつてよからう。

5) 在住年数と地域に対する好悪

人は同じ所に永く住んでいればその土地が好きになるのか、或は逆にあまり好きではなくなるのだろうか。それを示したものが第7図である。

図でAからCまで通してひかれた破線は第1図で示した各地域全体でみた比率である。つまり、東京の場合全体で38.9%の人々が住んでいる町を気に入っていると答えているが、在住年数に分けてみると、A群とB群がこの数値より上回っていることが分る。また、あまり好きではないと答えたものが全体でみた場合25.6%であったわけであるが、在住年数で分けてみると、A群は25.9%、B群は24.3%、C群は29.2%となっておりC群が一番全体の割合よりも、ずれが大きくなっている。す

第7図 今住んでいる町(村)をどう思うか



注) Aはその町(村)に住んで3年未満のグループ  
 Bはその町(村)に住んで4~8年のグループ  
 Cはその町(村)に住んで9年以上のグループ

なわち、東京の場合、その町に住んで8年未満の人々はその町が気に入り、9年以上住んでいる人々はその町があまり好きではないと思う傾向が、僅かだがあるといえよう。

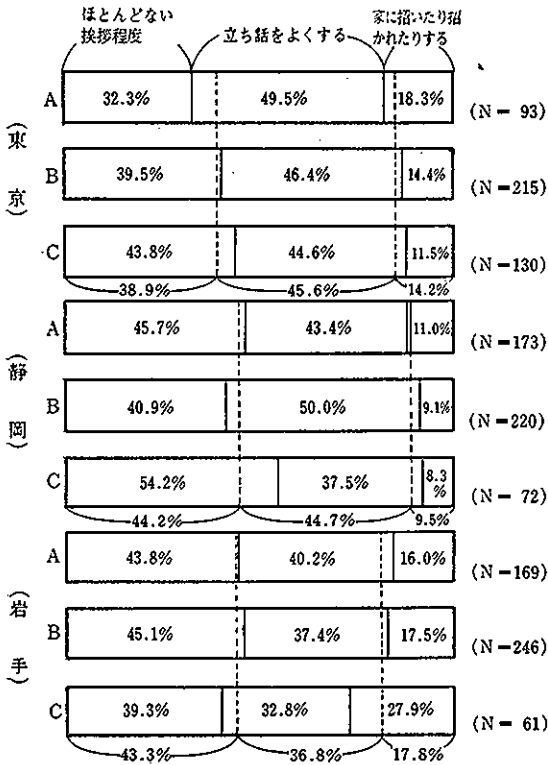
同様にみていくと、静岡では9年以上住んでいる人々は8年未満の人々よりも住んでいる所を気に入っているようである。岩手では3年未満のグループが一番その土地を好む傾向がみられる。この様に各地域によって在住年数による地域社会への好悪は異なっており、共通した傾向はみられなかった。

6) 年令別にみた近所付き合いの程度

母親の年令と近所付き合いの程度に何か関連はないであろうか、それを第8図でみていくことにする。

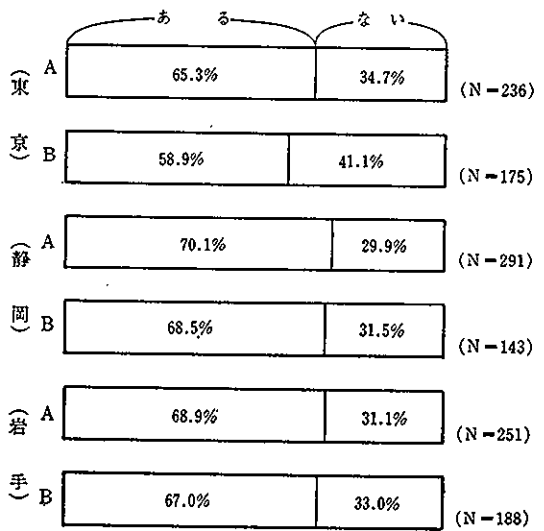
図の破線は第7図で述べたのと同じもので、各地域の全体の回答率である。東京の場合、母親の年令が高くなるに伴って近所付き合いも表面的になっていくことが分る。静岡の場合では、36才以上の母親が近所付き合いが一番消極的であり、岩手では36才以上の母親が一番近所付き合いがよいといつてもよからう。しかし、第7図で

第8図 近所の人たちとの付き合い



注) Aは年齢30才未満のグループ  
Bは年齢31~35才のグループ  
Cは年齢36才以上のグループ

第9図 子どもに関する事で何か悩みがあるか



注) Aはサークル等の活動に関心を示したグループ  
Bはサークル等の活動に無関心なグループ

検討してみよう。

図をみて分る様に、各地域ともサークル等の活動に関心をもっている母親達と無関心な母親達との間に子どもに関する悩みの有無の差はみられない。サークル等の活動の関心の有無に関係なく、過半数の母親達は子どもに対して何らかの悩みをもっていることが分る。そこで次に、母親達がつもつ子どもに関する悩みの内容についてみていくことにする。

8) 子どもに関する悩みの内容

母親は子どものどんなことに困ったり悩んだりしているのだろうか。勿論、子どもの年齢が異なれば母親の悩みの内容も違ってくるが、本調査では4~6才の子どもを対象として行った。その結果を次に示す。

第1表をみると、各地域とも30%近くの母親達は子どもに関して特に悩みをもっていないことが分る。また、無回答や無効回答が10~18%を占めているが、ここでは

みたのと同様に、東京、静岡、岩手の三地域に共通した傾向はみられなかった。

7) サークル等の活動に対する態度と子どもに関する悩みの有無

サークルやクラブ、会、団体の様なものに現在入っているかいずれ入りたいと思っている母親達と、現在入ってもいないし今後も入る意志のない母親達とでは、子どもに関しての悩みに違いがあるだろうか。第9図をみて

第1表 母親の子どもに関する悩みの内容

|    | 食            | 睡          | 排           | 性           | 社会           | 運動          | 能           | 健           | そ           | 特           | NA            | 計            |                 |
|----|--------------|------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|--------------|-----------------|
|    | 事            | 眠          | 泄           | 癖           | 生活           | 安全          | 力           | 康           | 他           | になし         | 無効            |              |                 |
| 東京 | 53<br>(11.9) | 4<br>(0.9) | 14<br>(3.1) | 16<br>(3.6) | 38<br>(8.5)  | 24<br>(5.4) | 26<br>(5.8) | 6<br>(1.3)  | 41<br>(9.2) | 14<br>(3.1) | 161<br>(36.2) | 48<br>(10.8) | 445<br>(99.8%)  |
| 静岡 | 68<br>(14.3) | 6<br>(1.3) | 18<br>(3.8) | 16<br>(3.4) | 35<br>(7.4)  | 24<br>(5.1) | 18<br>(3.8) | 11<br>(2.3) | 45<br>(9.5) | 12<br>(2.5) | 139<br>(29.3) | 83<br>(17.5) | 475<br>(100.2%) |
| 岩手 | 71<br>(14.5) | 4<br>(0.8) | 17<br>(3.5) | 18<br>(3.7) | 53<br>(10.8) | 15<br>(3.1) | 15<br>(3.1) | 16<br>(3.3) | 47<br>(9.6) | 12<br>(2.5) | 149<br>(30.0) | 72<br>(14.7) | 489<br>(100.1%) |

有効な回答のものに限ってその内容をみていくことにする。まず、東京、静岡、岩手の三地域とも母親が一番悩んでいる問題は食事のことである。次に健康のことと性格に関することがほぼ同じ割合で挙げられている。ここで、能力に関する悩みが案外少ないことが目立つ。悩みが一番多い食事の問題をもう少し詳しくみると、小食、むら食が多く、続いて食事に時間がかかりすぎる、偏食があるといったことが指摘されている。

9) 子どもの言動に対する母親の情動反応

四六時中子どもに接している母親は、子どもの振る舞いに対してどのような情動を示すのであろうか。母親といえども血の通った人間であることに変わりはないはずであるから子どもに対しても何らかの否定的な感情をもつこ

とがあろう。そこでいくつかの状況を設定して母親の情動反応をとってみた。

第2表、第3表、第4表をみると、子どもが望ましくない言動に出た場合70%近くの母親が何らかの情動反応を示していることが分る。殊に第2表の子どもが母親のことを全然きかない時には、別に何とも思わないと答えた母親は10%にも達せず、大半の母親はカッとなったりしやくにさわるかイライラすることが多いようである。

又子どもが母親に向って乱暴な振舞いに出た場合、母親はカッとなったりしやくにさわるが一番多く、次いで情無くなると答えた母親が東京、静岡で多くなっているが岩手では不安を感じる母親の方が多くなっている。

第2表 子どもが母親のいうことを全然きかない時

|    | 悲しくなる       | カッやわつたぐるとりにし  | 情無くなる       | さびしくなる     | 自力を自分の感じ無じ  | 末しおそなる     | 不安になる       | イライラする        | 別もいに思何わとな   | NA           | 計               |
|----|-------------|---------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------|-------------|--------------|-----------------|
| 東京 | 17<br>(3.8) | 154<br>(34.6) | 27<br>(6.1) | 5<br>(1.1) | 24<br>(5.4) | 0<br>(0.3) | 11<br>(2.5) | 92<br>(20.7)  | 41<br>(9.2) | 74<br>(16.6) | 445<br>(100.%)  |
| 静岡 | 17<br>(3.6) | 139<br>(29.3) | 33<br>(6.9) | 5<br>(1.1) | 30<br>(6.3) | 2<br>(0.4) | 17<br>(3.6) | 110<br>(23.2) | 47<br>(9.9) | 75<br>(15.8) | 475<br>(100.1%) |
| 岩手 | 14<br>(1.4) | 166<br>(43.1) | 20<br>(4.1) | 8<br>(1.6) | 35<br>(7.2) | 6<br>(1.2) | 25<br>(5.1) | 76<br>(15.5)  | 31<br>(6.3) | 70<br>(14.3) | 489<br>(99.8%)  |

第3表 子どもが母親に向って乱暴な言動に出た時

|    | 悲しくなる       | カッやわつたぐるとりにし  | 情無くなる       | さびしくなる      | 自力を自分の感じ無じ  | 末しおそなる      | 不安になる        | イライラする      | 別もいに思何わとな     | NA           | 計               |
|----|-------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|---------------|--------------|-----------------|
| 東京 | 24<br>(5.4) | 121<br>(27.2) | 43<br>(9.7) | 13<br>(2.9) | 18<br>(4.0) | 14<br>(3.1) | 26<br>(5.8)  | 38<br>(8.5) | 77<br>(17.3)  | 71<br>(16.0) | 445<br>(99.9%)  |
| 静岡 | 27<br>(5.7) | 118<br>(24.8) | 42<br>(8.8) | 13<br>(2.7) | 22<br>(4.6) | 15<br>(3.2) | 30<br>(6.3)  | 35<br>(7.4) | 106<br>(22.3) | 67<br>(14.1) | 475<br>(99.9%)  |
| 岩手 | 14<br>(2.9) | 166<br>(33.9) | 34<br>(7.0) | 10<br>(2.0) | 22<br>(4.5) | 34<br>(7.0) | 51<br>(10.4) | 33<br>(6.7) | 60<br>(12.3)  | 65<br>(13.3) | 489<br>(100.0%) |

第4表 子どもが期待通りに振舞わなかったり、同年令の他の子どもができることを子どもができなかった時

|    | 悲しくなる       | カッやわつたぐるとりにし | 情無くなる        | さびしくなる      | 自力を自分の感じ無じ  | 不安になる         | イライラする      | かうわいなそる      | 別もいに扱何わとな    | NA           | 計               |
|----|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|---------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| 東京 | 14<br>(3.1) | 8<br>(1.8)   | 66<br>(14.8) | 5<br>(1.1)  | 29<br>(6.5) | 96<br>(21.6)  | 22<br>(4.9) | 63<br>(14.2) | 90<br>(20.0) | 52<br>(11.7) | 445<br>(99.9%)  |
| 静岡 | 20<br>(4.2) | 7<br>(1.5)   | 71<br>(14.9) | 11<br>(2.3) | 29<br>(6.1) | 104<br>(21.9) | 27<br>(5.7) | 61<br>(12.8) | 77<br>(16.2) | 68<br>(14.3) | 475<br>(99.9%)  |
| 岩手 | 20<br>(4.1) | 8<br>(6.1)   | 78<br>(16.0) | 7<br>(1.4)  | 42<br>(8.6) | 85<br>(17.4)  | 12<br>(2.5) | 99<br>(20.2) | 71<br>(14.5) | 67<br>(13.7) | 489<br>(100.0%) |

子どもが母親の期待通りに振舞わなかったり、同年令の他の子ができるような事をできなかった場合、カッとなるよりも、不安になったり、可哀そうになったり、情無くなることが多い。ここで、可哀そうになると答えている母親がかなりいるがこれはどういうことなのだろうか。不安になったり、情無くなるといった感情を抱くのは理解できるが、可哀そうになるという感情は子どもの非力、無力を改めて認識した結果生じるものなのであろうか。とにかく、第2表、第3表でみた様な傾向はここではみられず、母親の反応もそれぞれに違ってきている。さらに、母親が不安を感じるのはどんな時が一番多いかをみると、まず、第2表の子どもが母親のいうことを全然きかない時、東京では全体の2.5%、静岡では3.6%、岩手では5.1%の母親が不安を示している。三地域の平均をとると3.7%になる。次に、第3表の子どもが母親に向かって乱暴な言動に出た時には、東京で5.8%、静岡で6.3%、岩手で10.4%、三地域平均すると7.5%の母親達が不安を示している。最後に第4表の子どもが期待通りに振舞わなかったり、同年令の他の子どもができることを自分の子どもができなかった時には、東京で21.6%、静岡で21.9%、岩手で17.4%、三地域平均すると20.3%の母親達が不安を示していることになり、前の二つの状況よりもはるかに強い不安を感じる傾向があるといえよう。

#### 10) 母親がみた育児の不安因

ここでは、育児の不安因や自信喪失の原因を母親自身がどう考えているかをみていく。

##### 育児不安の原因と考えられるもの

##### 東京

- 1位 育児に関する正しい知識を母親がもっていないから (21.6%)
- 2位 子どもに対して期待をもちすぎるから (12.8%)
- 3位 母親自身が神経質・心配しようであるから (11.7%)

- 4位 育児の相談をできる相手が身近にいないから (9.2%)

##### 静岡

- 1位 育児に関する正しい知識を母親がもっていないから (21.7%)
- 2位 子どもに対して期待をもちすぎるから (17.1%)
- 3位 母親が働いていて子どもの面倒をよくみてやれないから (13.1%)
- 4位 母親自身が神経質・心配しようであるから (11.8%)

##### 岩手

- 1位 育児に関する正しい知識を母親がもっていないから (25.8%)
- 2位 母親が働いていて子どもの面倒をよくみてやれないから (20.9%)
- 3位 母親自身が神経質・心配しようであるから (10.6%)
- 4位 子どもに対して期待をもちすぎるから (9.2%)

各地域とも、育児の不安の原因となっているものとして、母親の育児に対する誤った知識を指摘している。これは現代社会の情報過多を反映しているのではない。その他各地域で共通して指摘されている原因として「子どもに対して期待をもちすぎる」「母親自身が神経質だったり心配しようである」といった要因が挙げられている。地域差がみられるものとして、東京の場合、育児の相談をできる相手が身近にいないことを挙げているが、静岡、岩手では、母親の労働をその原因として挙げている点で違いがみられる。因みに、母親の就業率をみると東京48.1%、静岡76.7%、岩手78.3%となっており、この地域差を裏付けている。そして、これらの不安因をみると、母親自身に關した理由が主として挙げられており、ソシオエコノミックな要因や家族関係などはあまり関係がないという結果がでた。

## IV 考 察

母親のもつ育児不安を考える時、そこには様々な要因が存在するものと思われる。その要因はただ母親と子どもに限られたものではなく、家族関係、周囲の環境、経済状態、その他の外的要因によっても左右されると思われる。そこで、今回の研究では、母親の地域社会に対する関心の示し方、換言すれば、母親の社交性の程度に的を絞って、それと育児態度との関連を検討してきたわけ

であるが、結果としては、地域社会やサークル等の活動に積極的な態度を示す母親達と、逆に、消極的な態度をもっている母親達との間に育児態度の相違はみられなかった。

母親が子どもに対してもっている悩みの一番多いものは食事、健康、性格に關したものが多く、能力方面での心配や悩みは少なかった。しかし、情動反応をとってみる

と、子どもが期待通り振舞わなかったり、同年令の他の子どもができることを自分の子どもができない時に不安を抱く母親が多いという結果がでており、内心では子どもの能力の状態をかなり気にしていることが分る。

また、育児の不安因としては、母親の誤った知識、期待のしすぎ、神経質など母親自身に関連した要因が指摘されており、外的な要因はあまり重くみていない母親達が多かった。以上が本調査で得られた結果である。

〔質問紙〕

### みなさまへのお願い

この調査は、いまのお母さん達が、日常生活や育児に関してどんな問題をもっているかを知るためのものです。この調査によって、教育相談という現場において、お母さん達のもっている問題をどのように理解していったらよいかを考えていくために必要な資料を得たいと考えております。

ご多忙のところ、たいへんご迷惑とは存じますが、なにとぞ協力くださいますようお願い申し上げます。

昭和49年11月

日本総合愛育研究所内 母性問題研究会

#### ● ご記入にあたって

- この調査用紙にはお名前をお書きになる必要はございません。
- 各問にお母さんがお答えください。
- 各問のイ、ロ、ハ……のうちであてはまるものを○印で囲んでください。
- ( ) 内にはなるべくくわしくお書き入れください。

問1 ご家族のこととあなた(お母さん)のことについておききます

- ① 一緒に住んでいる人は今何人いますか(あなたも含めて)
- イ. 2人    ロ. 3人    ハ. 4人    ニ. 5人  
ホ. 6人    ヘ. 7人    ト. 8人    チ. 9人  
リ. 9人以上( )人
- ② 一緒に住んでいる人のなかにおじいさんかおばあさんがいますか
- イ. 母方の祖父がいる    ロ. 母方の祖母がいる  
ハ. 父方の祖父がいる    ニ. 父方の祖母がいる  
ホ. いない
- ③ 今あなたが住んでいらっしゃる家はどんなですか
- イ. 一戸建の持家    ロ. 一戸建の借家    ハ. 分譲のマンション又は団地    ニ. 賃借のマンション又は団地    ホ. アパートの借間    ヘ. 社宅・寮    ト. その他
- ④ 今のところに住んでどの位になりますか
- イ. 1年たらず    ロ. 1~3年    ハ. 4~8

年    ニ. 9~15年    ホ. 16年以上

⑤ 今住んでいる町(又は村)をどう思いますか

イ. とても気に入っている

どんなところが気に入ってますか

( )

ロ. 別に何も感じない

ハ. あまり好きではない

↓  
どうしてですか

( )

⑥ 近所の人たちとの付き合いはどんなですか

イ. 付き合いはほとんどない    ロ. 顔をあわせればあいさつぐらいはする    ハ. 顔をあわせるとよく立ち話をする    ニ. 家にまねいたりまはかりたりする

⑦ あなたのご主人はここ(都・府・県)のご出身ですか

イ. 2人とも他の県(都・府)の出身    ロ. 主人がここ出身    ハ. わたしがここ出身

⑧ 困ったこと、わからないことができた時、助け合いのできる人が近所にいますか

イ. いる……それは誰ですか    <イ. 近所の人  
ロ. 親・きょうだい    ハ. 友人    ニ. 親類の者    ホ. その他( )>  
ロ. いない

⑨ あなたは、サークル、クラブ、会、団体のようなものにはいっていますか

イ. 何にもはいていないし、はいろいろとも思わない    ロ. 今ははいていないが、いずれ何かにはいりたいと思う    ハ. 正式にははいていないが時々顔を出す    ニ. はいている……それは何ですか。さしつかえなかったらお書きください

( )

⑩ あなたの年齢はいくつですか

イ. 20才未満    ロ. 20~25才    ハ. 26~30才  
ニ. 31~35才    ホ. 36~40才    ヘ. 40才以上

⑪ あなたは家事や育児以外に何かお仕事をしていますか

すか

イ. していない    ロ. 家の商売を手伝っている  
ハ. 毎日つとめに出ている    ニ. 毎日ではない  
がつとめに出ている    ホ. 自宅で収入のある仕事  
をしている

⑩ あなたは何人きょうだいの上から何番目ですか  
(亡くなった方も含めて)

●きょうだい数(あなたの他に)

イ. なし(ひとりっ子)    ロ. 1人    ハ. 2人  
ニ. 3人    ホ. 4人    ヘ. 5人  
ト. 6人    チ. 7人    リ. 8人    ス. 8  
人以上( )人

●上から

イ. 1番目    ロ. 2番目    ハ. 3番目  
ニ. 4番目    ホ. 5番目    ヘ. 6番目  
ト. 7番目    チ. 8番目    リ. ( )番目

⑪ ご主人は今あなたやお子さんたちと一緒に住んで  
いますか

イ. 一緒に住んでいる    ロ. 仕事の都合で別居  
している    ハ. その他の理由で別居している  
ニ. 離婚    ホ. 死別  
ヘ. その他( )

⑫ ご主人の年齢はいくつですか

イ. 25才以下    ロ. 25~29才    ハ. 30~34才  
ニ. 35~39才    ホ. 40~44才    ヘ. 45才以上

⑬ ご主人の職業は仕事の内容からみて、次のうちの  
どれにいちばん近いでしょうか

イ. 農業・林業・水産業のいずれかをいとなんで  
いる

ロ. 農業・林業・水産業のいずれかと他の仕事  
(つとめ、出稼ぎ、店など)をかねている

ハ. サービス関係の仕事についている

ニ. 工場や建築・土木の現場で労務についている

ホ. 役所や会社などで管理的な仕事(役職)につ  
いている

ヘ. 役所や会社などで事務的な仕事(非役職、営  
業・販売も含む)についている

ト. 専門的な仕事(医師・弁護士・技師・教師)  
などについている

チ. 商店・工場・会社などを自分で経営している  
リ. その他( )

るお子さんが2人以上いる場合は、上のお子さんにつ  
いてお答えください。

●年齢    イ. 2才    ロ. 3才    ハ. 4才  
ニ. 5才    ホ. 6才

●性別    イ. 男    ロ. 女

●きょうだい数(この子の他に)    イ. なし  
(ひとりっ子)    ロ. 1人    ハ. 2人  
ニ. 3人    ホ. 4人    ヘ. 5人  
ト. 6人    チ. 7人    リ. 8人  
ス. 8人以上( )人

●上から    イ. 1番目    ロ. 2番目  
ハ. 3番目    ニ. 4番目    ホ. 5  
番目    ヘ. 6番目    ト. 7番目  
チ. ( )番目

① このお子さんの食事に関する事で何か心配なこ  
とはありませんか

イ. 食べ過ぎ    ロ. 小食    ハ. むら食い  
ニ. 偏食    ホ. 食事に時間がかかりすぎる  
ヘ. 食事の態度や作法がわるい    ト. その他の  
こと( )  
チ. 特に心配なことはない

② このお子さんの睡眠に関する事で何か心配なこ  
とはありませんか

イ. 睡眠時間が少ない    ロ. ねつきがわるい  
ハ. ねごとがひどい    ニ. 夜泣きをする  
ホ. 歯ぎしりがひどい  
ヘ. その他のこと( )  
ト. 特に心配なことはない

③ このお子さんの排泄に関する事で何か心配なこ  
とはありませんか

イ. 昼間おしっこをよくもらす    ロ. 夜尿  
ハ. 大便をよくもらす    ニ. 排便がひとりので  
きない    ホ. 頻尿  
ヘ. その他のこと( )  
ト. 特に心配なことはない

④ このお子さんのくせに関する事で何か心配なこ  
とはありませんか

イ. 指をしゃぶる    ロ. つめをかむ    ハ. 鼻  
をいじる    ニ. 性器をよくいじる    ホ. 左手  
きき    ヘ. 目をしばしばさせる  
ト. その他のこと( )  
チ. 特に心配なことはない

⑤ このお子さんの性格に関する事で何か心配なこ

問2 お子さんのことについておききます。お子さん  
が2人以上いらっしゃる方は、幼稚園か保育園に通っ  
ているお子さんについてお答えください。通園してい





に行く ハ. 一緒に遊ぶ ニ. 一緒にスポーツをする ホ. その他……一緒に( )する ヘ. あまり相手をしない ト. 相手をしたいらしいがその時間がないようだ

③ 毎日お子さんを相手にしていると楽しいことばかりではなく、腹立たしくなったり、悲しくなったりすることもあると思いますが、次のような場合、あなたはどんなお気持ちになりますか

a. お子さんがあなたのいうことを全然きかない時  
イ. 悲しくなる ロ. カッとなったりしゃくにさわる ハ. 情無くなる ニ. さびしくなる  
ホ. 自分の無力を感じる ヘ. 末おそろしくなる ト. 不安になる チ. イライラする  
リ. 別に何とも思わない

b. お子さんがあなたに向かって乱暴な口をきいたり乱暴なことをした時  
イ. 悲しくなる ロ. カッとなったりしゃくにさわる ハ. 情無くなる ニ. さびしくなる  
ホ. 自分の無力を感じる ヘ. 末おそろしくなる ト. 不安になる チ. イライラする  
リ. 別に何とも思わない

c. あなたの期待どおりにお子さんがふるまわなかったり、他の同年令の子どもができることをお子さんができなかった時  
イ. 悲しくなる ロ. カッとなったりしゃくにさわる ハ. 情無くなる ニ. さびしくなる  
ホ. 自分の無力を感じる ヘ. 不安になる  
ト. イライラする チ. 可哀そうになる  
リ. 別に何とも思わない

④ 育児についての意見で、あなたのお考えにいちばん近いものは次のうちのどれでしょうか

イ. 子どもの教育は母親が責任をもってやるべきである  
ロ. 子どもの教育は母親よりもむしろ父親がやる

べきである

ハ. 子どもの教育は両親がそろってやるべきである

ニ. 子どもの教育はおもに母親がやり、父親は必要な時以外は口を出すべきではない

ホ. 子どもの教育は家庭でやるよりも幼稚園・保育園や学校でやるべきだ

⑤ 下に書いたものは、母親が育児に不安をもったり自信をなくしてしまう原因と考えられることです。あなたがまわりの母親達をみて、育児不安や自信そう失をつくりだしているいちばんの原因となっていると思うものはどれでしょうか。イ～ヨのうちからひとつだけえらんでください

イ. 育児に関する正しい知識を母親がもっていないから

ロ. 姑が同居していて育児に口を出すから

ハ. 育児の相談をできる相手が身近にいないから

ニ. 母親自身が未熟で子どもっぽい考えをもっているから

ホ. 育児に対して父親が協力してくれないから

ヘ. はじめて子どもをもって勝手がわからないから

ト. 住まいの条件が悪く近所にきかねることが多いから

チ. 子ども自身に何か欠陥や異常があるから

リ. 夫婦関係や家族関係がうまくいっていないから

ヌ. 経済的に恵まれていないから

ル. 子どもに対して期待をもちすぎるから

ワ. 母親が働いていて子どもの面倒をよくみてやれないから

ヰ. 育児に関して父親と意見があわないから

カ. 母親自身が神経質・心配しようであるから

ヨ. その他の原因